化学部

主な業務は、廃棄物、土砂等に関する試験検査及び調査研究である。令和 7 年度に実施した試験検査等は 889 検体、4,202 項目で、その内訳は表 1 のとおりである。

表 1　令和 7 年度試験検査実施状況

区分	行政検査		調査研究		精度管理		合計	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
一般廃棄物関係								
産業廃棄物関係								
処分場浸透水､排水	29	259					29	259
処分場周辺地下水､井水	38	946			309	632	347	1,578
河川水､環境水	26	557					26	557
廃棄物等								
その他								
事故関係								
土砂関係								
放射能関係								
廃液排出	5	5					5	5
その他			445	1,748	37	55	482	1,803
合計	98	1,767	445	1,748	346	687	889	4,202

1 試験検査

廃棄物の処理及び清掃に関する法律、栃木県廃棄物処理に関する指導要綱等に基づく検査や、調査研究に係る試験を実施した。

1.1 廃棄物関係

産業廃棄物最終処分場等の浸透水、周辺井戸水及び環境水等や、後述の廃プラスチック類に係る調査研究について 543 検体、3,515 項目（うち、後述の「2.1 連携プラットフォームを活用した環境流出プラスチックごみの発生抑制に資する研究」分は、445 検体、1,748 項目）の検査等を実施した。

2 調査研究

2.1 連携プラットフォームを活用した環境流出プラスチックごみの発生抑制に資する研究

国立研究開発法人国立環境研究所と地方環境研究機関（令和 7 年度：29 自治体）との共同研究である「Ⅱ型共同研究」に、令和 6 年度から 3 年計画で参画している。

3 精度管理

3.1 精度管理

分析精度の確認、向上及び信頼性の確保を図るため、行政検査における内部精度管理について 309 検体、632 項目、行政検査試験法等の確認について 37 検体、55 項目の試験等を実施した。

4 その他

4.1 試験等廃液の委託処理等に係る事務

県の試験研究機関等が排出した廃液について、産業廃棄物処理業者に処理を委託した。

4.2 ダイオキシン類環境調査委託業務に係る検査

県が委託により実施した標記調査について、環境保全課の依頼により試料採取及び分析等精度に係る検査を実施した。